

# 「LOHAS COAT」

## 施工マニュアル

### — 目 次 —

・仕様

・施工基準

・施工方法

コンクリート及び ALC 下地等

鉄板下地

・使用上の注意

OK-DEPOT

埼玉県さいたま市大宮区宮町 3-25

TEL:048-631-1199

FAX:048-644-7309

LOHAS material

20101227

## ○仕様

塗料名	商品名	特徴
下地調整剤	LOHAS COAT-BW (水溶性)	LOHAS COAT 専用シーラー 基材との接着力を高める
主剤	LOHAS COAT (水溶性)	断熱，遮熱，建物劣化防止効果有り 弾力性と伸びが有り、クラック等をカバーする。 付着力が高い。
トップコート	LOHAS COAT-TS (クリア)	乳白色，乾燥で透明，防汚効果
	LOHAS COAT-TS (遮熱トップ)	指定色，防汚効果

## ○施工基準（平場の場合）

工程	下塗	断熱塗料	トップコート
商品名	LOHAS COAT-BW	LOHAS COAT (水溶性)	LOHAS COAT-TS クリア LOHAS COAT-TS 遮熱トップ
塗布量	0.1kg/m <sup>2</sup>	30 m <sup>2</sup> /缶 (塗膜厚約 0.4mm)	0.1kg/m <sup>2</sup> 0.20kg/m <sup>2</sup>
塗布方法	ローラー，吹付等	ローラー，吹付，刷毛等	ローラー，吹付等
塗布回数	1～2 回塗り (最大 原料 1：清水 1)	2～3 回塗り	1 回～2 回塗り
色調	乳白色	淡彩色	透明
			指定色
養生時間	1～2 時間	塗装間隔：夏期 1 時間位 冬期 2～4 時間位	LOHAS COAT が十分に 乾燥後、仕上げを行う。

## ○施工方法（コンクリート及びALC下地等/吸水性のある塗装下地）

- (1) 下地処理として、施工する下地の汚れ、表面の白華、浮き等は高圧水洗浄機を用いて、清掃除去して下さい。
- (2) LOHAS COAT 専用シーラー（LOHAS COAT-BW）を原料 1：清水 1 に希釈し、充分下地に浸透させて下さい。（無希釈でも可）  
コンクリート等の表面が風化している場合は、ロハスコート BW を無希釈のうえ、2 回塗りするとより効果的です。
- (3) LOHAS COAT 塗布（※基本希釈は行わない）
- ①中空断熱ビーズが上部に浮いている場合がありますので、パワーミキサーで必ずクリーミーな状態になるまで攪拌してから、塗布を行って下さい。

清水による希釈表

希釈率(1 缶 1 6L 当たり)		備 考
刷毛・ローラー	80～300cc	塗装下地の温度等状況により希釈量を決定して下さい。
ガン吹付け	80～160cc	

※夏季で、30 度以上の気温の場合に限り、希釈は 500cc まで

※攪拌の目安は、30 秒～45 秒くらいとなります。中空断熱ビーズが上に浮いているため、均等になるように上下の攪拌を行ってください。

- ②ローラー、刷毛、吹き付けで塗装して下さい。
- ③必ず 2～3 回に分けて塗布して下さい。一度に塗布すると塗膜面に亀裂が発生します。
- ④標準塗布量は塗膜厚確保のため、30 m<sup>2</sup>/缶を目安に塗布して下さい。
- ⑤塗布は縦塗り横塗りと、塗り方向を変えながら仕上げして下さい。
- ⑥LOHAS COAT 乾燥後に、塗膜厚計により塗膜厚の確認（0.3～0.4mm）を必ず行なって下さい。

## (4) トップコート塗布

（TSクリアは最大で原料 1：清水 1 の希釈を認めるが、TS遮熱は希釈しない）

LOHAS COAT は標準として艶消し仕上げとなりますが、艶有りをご希望の場合は、LOHAS COAT を十分に乾燥させてから（主剤の施工翌日を推奨しております）トップコート仕上げをして下さい。着色はご指定ください。

※塗布方法はローラー、吹き付け、刷毛、コテの全てに対応できます。希釈は作業の状況に合わせて、調整して下さい。

※ガン吹付けでの諸注意として、LOHAS COAT は高粘度塗料の為、使用するエアレス機は高粘度対応の機器で行って下さい。又、使用するチップは口径 0.38mm～0.58mm のもの

を推奨します。

#### 推奨エアレス機器

メーカー	エアレスタイプ	型 式
日本ワグナスプレーテック	ピストン式（電動）	PS-34
精和産業	高粘度対応（電動）	スーパー70E

※冬期の場合、凍結による塗膜の硬化不良等が心配されるので、日没までに塗装が乾燥する様、作業工程を調整して下さい。

### ○施工方法（鉄板下地/吸水性の無い下地）

- (1) 下地処理として、施工する下地のサビ、汚れ等は電動工具で除去した後、高圧水洗浄機で表面の油分、劣化した塗膜を清掃除去して下さい。又、サビの部分は錆び止め塗装を行って下さい。（変性エポキシ樹脂塗料）
- (2) 鉄板系下地（吸水性のない下地）に塗布する場合、専用シーラー（ロハスコートBW）は基本的に必要ありません。ケレンを行い、弱溶剤系の錆止めを塗布後、主剤を施工できます。  
また、新設の折半屋根にはフッ素が塗布してある場合がありますので、その場合はプライマーを塗布後、主剤となります。**念のため、密着テストをしてください。**
- (3) LOHAS COAT 塗布
  - ① 中空断熱ビーズが上部に浮いている場合がありますので、パワーミキサーで必ずクリーミーな状態になるまで攪拌してから作業を行って下さい。

#### 清水による希釈表

希釈率(1缶16L当たり)		備 考
刷毛・ローラー	80～300cc	塗装下地の温度等状況により希釈量を決定して下さい。
ガン吹付け	80～160cc	

※夏季で、30度以上の気温の場合に限り、希釈は500ccまで

※攪拌の目安は、30秒～45秒くらいとなります。中空断熱ビーズが上に浮いているため、均等になるように上下の攪拌を行ってください。

②ローラー、刷毛、吹き付けで塗装して下さい。

③必ず2～3回に分けて塗布して下さい。一度に塗布すると塗膜面に亀裂が発生します。

- ④標準塗布量は塗膜厚確保のため、30 m<sup>2</sup>/缶を目安に塗布して下さい。（平場の場合）
- ⑤塗布は縦塗り横塗りと、塗り方向を変えながら仕上げして下さい。
- ⑥LOHAS COAT 乾燥後に、塗膜厚計により塗膜厚の確認（0.3～0.4mm）を必ず行なって下さい。

#### （4）トップコート塗布

（TSクリアは最大で原料1：清水1の希釈を認めるが、TS遮熱は希釈しない）

LOHAS COATは標準として艶消し仕上げとなりますが、艶有りをご希望の場合は、LOHAS COATを十分に乾燥させてから（主剤の施工翌日を推奨しております）トップコート仕上げをして下さい。着色はご指定ください。

#### （5）注意事項

- ①一塗布方法はローラー、吹き付け、刷毛、コテの全てに対応できます。希釈は作業の状況に合わせて、調整して下さい。
- ②ガン吹き付けでの諸注意として、LOHAS COATは高粘度塗料の為、使用するエアレス機は**高粘度対応の機器**で行って下さい。又、使用するチップは口径0.38mm～0.58mmのものを推奨します。

#### 推奨エアレス機器

メーカー	エアレスタイプ	型 式
日本ワグナースプレーテック	ピストン式（電動）	PS-34
精和産業	高粘度対応（電動）	スーパー70E

- ③冬期の場合、凍結による塗膜の硬化不良等が心配されるので、日没までに塗装が乾燥する様、作業工程を調整して下さい。

#### ④参考歩掛り

塗装方法	標準歩掛り
ローラー塗り	50～100 m <sup>2</sup> /人
吹 付 け	200～300 m <sup>2</sup> /人

※塗布方法はローラー、吹き付け、刷毛、コテの全てに対応できます。希釈は作業の状況に合わせて、調整して下さい。

※ガン吹き付けでの諸注意として、LOHAS COATは高粘度塗料の為、使用するエアレス機は **高粘度対応の機器**で行って下さい。又、使用するチップは口径0.38mm～0.58mmのものを推奨します。

## ○使用上の注意

---

### (1) 使用上の注意

- ①凍結は絶対に避けて下さい。再融解しても塗料としての性能は発揮できません。
- ②保管に際し、水分の揮散（高温長時間、例えば 40℃以上で数か月、或いは蓋の密閉不良等による）は、LOHAS COAT を乾燥させ、硬化させてしまいますので注意して下さい。
- ③過度の希釈は避けて下さい。成膜不良の原因となります。（水の添加による調整は 1%以下として下さい。
- ④使用前には必ず攪拌して下さい。必要以上の攪拌は逆効果になります。  
（泡の抱き込み等）
- ⑤開封した缶は、出来る限り一度で使い切して下さい。使い切れなかった場合は、蓋の密閉を充分に確認してください。更に出来るだけ早く使用するようして下さい。
- ⑥塗装作業要領及び道具類の洗浄は一般の水性塗料と同じです。
- ⑦塗装時に適合する温湿度条件も一般の水性塗料と同様です。（5℃以下の気温及び 80%以上の湿度がある日は作業しないようにして下さい。）  
他の水性塗料同様、一度乾燥した塗膜は水では溶解しません。
- ⑧基本的には、有機溶剤を使用しておりませんので人体に害はありませんが、念のためゴーグル・マスクの使用をお勧めします。（特に、吹付け作業の場合）

### (2) 応急措置

- ①人の目に入った場合 : 正常な水道水で十分に洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
- ②皮膚に付いた場合 : 付着物を拭取り、温水と石鹼でよく洗う。
- ③吸引した場合 : 蒸気、ガスなどを吸引して気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、安静・保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。
- ④飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診察を受ける。